

## ヒラド系ツツジの鉢物化に関する試験 第2報 低温処理に関する試験

吉田 俊一・\*後藤 利幸 (大分県温泉熱利用農業研究所・\*大分県庁)

YOSHIDA, S. and T. GOTO: Studies on the Production of the Pot Plant of Hirado-azaleas (*R. mucronatum* G. DON) 2. Effects of Precooling in Forcing

前報<sup>2)</sup>で、ヒラド系ツツジの鉢物の促成には、温室へ入室前に充分な低温 (自然条件下で5℃以下270時間以上) に遭遇した方が効果が高く、入室時期は遅い方が促成日数が短く、開花の揃いが良いことを明らかにした。

また、早期入室で到花日数の短い品種と長い品種のあること、つまり、品種によって低温要求性が異なることも明らかにした。なお、低温により開花が早まることは五井<sup>1)</sup>の御代の榮を用いた報告と一致する。

そこで、本報では、温室入室前の低温処理が鉢物の促成に及ぼす効果を検討したので、その結果を報告する。

### 1. 材料及び方法

品種は正之進と桃源を用い、4号素焼鉢植えとし、正之進はさし木後15ヵ月、桃源はさし木後26ヵ月経過したものをを用いた。最終摘心は、1978年7月10日に行った。低温処理は庫内温度を5℃にした冷蔵庫に鉢ごと搬入して行った。低温処理の期間は3段階に分け、10日、20日、30日とした。また、入室時期は11月17日と11月30日とし、両区とも同様の低温処理を行った。

促成方法は当所の慣行に従って行い、最低夜温は12℃～20℃ (大半は15℃～18℃) とした。1区割とし、1処理当たり供試個体数は、正之進で8株 (鉢)、桃源で4株 (鉢) とした。

### 2. 結果及び考察

1) 正之進: 第1表より、11月17日入室で30日～20日処理区は、到花日数が72.5日～74.4日であり、無処理区より約18日～19日開花が早まり、1月29日～30日に開花した。また、11月30日入室で30日～20日処理区は、到花日数が60.0日～63.3日であり、無処理区より12日～15日開花が早まり、1月29日～2月1日に開花した。30日処理区と20日処理区の間には有意な差は認められなかったが、

30日処理区の方が到花日数は2～3日短かった。10日処理区の促成効果は11月17日入室で認められ、無処理区より8日開花が早まったが、11月30日入室では効果はほとんど認められなかった。なお、1花の寿命が5℃10日処理区で少し短くなったことをのぞけば、鉢花の品質は低温処理によって何らそこなわれなかった。

2) 桃源: 11月17日入室で入室後着色までの日数は、30日処理区が最も短く50.7日であり、無処理区は60.8日であった。しかし、第2表より、到花日数は30日処理区が最も短かったが、無処理区との間に有意な差は認められなかった。11月30日入室では、入室後着色までの日数及び到花日数ともに30日処理の効果は認められ、開花が無処理区より7日早くなった。しかし、20日以下の処理日数では、促成効果はほとんど認められなかった。

なお、鉢花の品質は低温処理によって何らそこなわれなかった。

3) 第1表と第2表より、入室時期による到花日数の比較では、2品種とも前報<sup>2)</sup>と同様に遅く入室した方が短くなった。

以上の結果より、低温処理の促成効果は、花芽の休眠打破に低温要求性の高い品種の正之進で著しく高く、低温要求性の低い品種の桃源では効果が低いことが明らかになった。早期入室による促成では、正之進は入室前の5℃30日～20日処理が非常に効果的であり、桃源は11月30日入室で5℃30日処理が効果的であった。

### 引用文献

- 1) 五井正憲・狩野邦雄・小西国義: 園芸学会研究発表要旨 (46年度秋季大会), 208-209, 1971.
- 2) 吉田俊一・後藤利幸: 九州農業研究, 42, 252-253, 1980.

第1表 正之進の促成における低温処理の効果

区分	入室月日 項目	11月17日				11月30日			
		開花期	到花日数	1鉢の 開花期間	1花の 寿命	開花期	到花日数	1鉢の 開花期間	1花の 寿命
		月日	日	日	日	月日	日	日	日
5℃	30日	1.29	72.5 <sup>a</sup>	23.0	11.8 <sup>a,b</sup>	1.29	60.0 <sup>a</sup>	22.4	13.0
5℃	20日	1.30	74.4 <sup>a</sup>	22.6	13.8 <sup>b</sup>	2.1	63.3 <sup>a</sup>	23.9	11.4
5℃	10日	2.8	83.1 <sup>b</sup>	21.9	9.4 <sup>a</sup>	2.10	72.3 <sup>b</sup>	20.7	9.7
	無処理	2.16	91.1 <sup>c</sup>	23.5	11.9 <sup>b</sup>	2.13	75.3 <sup>b</sup>	26.7	13.4
	有意性	—	**	N. S.	*	—	**	N. S.	N. S.

注) 開花期: 1鉢中第1花開花の日とした。

a, b, c: 同一項目中同一文字を含むもの間にはL. S. D. 5%水準で有意差なし。

第2表 桃源の促成における低温処理の効果

区分	入室月日 項目	11月17日				11月30日			
		開花期	到花日数	1鉢の 開花期間	1花の 寿命	開花期	到花日数	1鉢の 開花期間	1花の 寿命
		月日	日	日	日	月日	日	日	日
5℃	30	1.15	58.7	46.3	7.7	1.13	44.0 <sup>a</sup>	29.0	8.0
5℃	20	1.25	68.8	34.8	7.8	1.15	45.8 <sup>a,b</sup>	36.0	7.3
5℃	10	1.24	67.8	39.2	6.5	1.23	53.5 <sup>c</sup>	36.5	10.0
	無処理	1.24	67.8	34.8	8.0	1.21	51.8 <sup>b,c</sup>	30.5	6.3
	有意性	—	N. S.	N. S.	N. S.	—	*	N. S.	N. S.